

(2)雇用の確保につながる 起業・第二創業等の推進

労働条件の改善や所得の増加を図るため、企業が雇用している非正規雇用者を正規雇用者に転換する支援制度を新設します。

若者やU・Iターナー者の雇用の確保を図るため、産学官金による創業支援ネットワークや島内企業と連携しながら、国の地域社会維持推進交付金等を活用し、地域経済を担う島内企業の事業拡大への支援を強化します。島内の製造業者と農業者が連携した加工品の開発や、第二創業化、農商工連携、6次産業化へ向けての事業支援を行い、地場産業の振興と雇用の創出につなげます。

また、佐渡を担う人材が佐渡へ帰って来る契機となるよう、現行の奨学金制度を見直し、大学などを卒業後に一定期間を佐渡で就労することを要件とした奨学金の返済を全額免除する制度を新設します。

(3)島外への販売戦略と 島内循環の仕組みづくり

地域経済の活性化には資金の島内循環の促進が必要です。本市発注の物品調達など、可能な限り島内事業者への優先発注の取り組みを進めま

す。さらに、ホテル等との連携により佐渡産食材の提供など、観光と他の産業が循環する仕組みづくりも推進します。

また、「外貨」獲得へ向けて、世界農業遺産認定の国際的な価値を活用した佐渡産品の統一ラベルを作成し、佐渡で製造された土産品や加工品の高付加価値販売を図ります。

あわせて、メイド・イン・サドブランド創出事業や米の販売網構築事業を進める中で、佐渡産品の生産・加工から販売までをプロデュースする組織体制の構築に向けた具体的な検討をはじめます。

観光地域づくりの推進による交流人口の拡大

佐渡金銀山の世界遺産登録については、観光の振興の大きな起爆剤として期待が寄せられています。

本年は、大規模な講演会などを東京で開催するほか、市民の機運を醸

成するPR活動を展開し、佐渡金銀山の世界遺産登録に向けた一体感を国内外にアピールします。

本年こそ、国内推薦の決定に向けて、市民の皆さまや県内外の多くの

方々から応援をいただきながら全力で取り組みます。

あわせて、世界遺産登録後を見据えた受入環境の整備や、佐渡版DMOの平成

30年度の設立に向けた準備を進め、観光地域づくりを推進します。



(1)佐渡版DMOを中心とした 滞在交流型観光の推進

佐渡版DMOの構築に向けて、組織のあり方や魅力ある着地型旅行商品の開発などについて議論しており、平成30年度の設立に向けて関係者の合意形成を図ります。

旅行市場のトレンドは団体旅行から個人旅行へのシフトやインバウンドの増加であり、個人旅行者等をターゲットの中心とし、佐渡の魅力や伝えられる体験型観光を推進し、他の産業や地域に経済波及効果がある仕組みづくりから、さまざまな関係者が稼ぐことができる佐渡版DMOの構築を目指します。

さらに、佐渡の食に対する観光客の期待は大きいことから、佐渡産食材を活用したメニューを観光客に提

供し、宿泊満足度やリピート率、他の産業の所得向上を図ります。

インバウンド対策では、外国人旅行者向け観光案内サイトの構築やSNSでの発信など効果的な情報発信を行い、欧米豪の外国人個人客の誘客を図ります。

また、観光タクシーのクレジットカード決済化を支援し、外国人旅行者の利便性や満足度の向上を図ります。

(2)受入態勢の整備

世界遺産登録に向けて佐渡金銀山ガイドの登録制度を構築し、観光客の満足度向上を図り、リピーターの確保につなげます。

各ガイドが共通して身につけるマナー、リスクマネジメント等の研修やガイド団体の相互の研修を実施し、地域限定通訳案内士とともにスキルアップを図り、ガイドの一元化による観光客の利便性の向上を図ります。ハード面の整備では、主要な観光地や道路沿いの公衆トイレの洋式化を進めます。

また、主要観光拠点でWiFi環境を整備し、観光客の利便性の向上を図ります。

近年、文化財や歴史的建造物を活用した観光メニューへの期待が拡大していることから、有形・無形の文化財を観光商品に取り込み、観光客